

# Law School Admission Test LSATの 傾向 と 対策

LSATは英語の  
ロジック脳  
(論理脳)を測る

トレント信子

早稲田大学、米国ウィスコンシン大学マディソン、及びテキサス大学オースティン卒。外国語教育応用言語学博士。テキサス大学講師、オースティン地区大学講師。現在早稲田大学などで英語講師。

## ■ LSATは英語のロジック脳(論理脳)を測る

### 1) LSATとは?

LSAT (Law School Admission Test) はアメリカ (及びカナダのほとんど) のロー・スクール (法科大学院) への進学希望者が受験する統一テストで、そのスコアは希望のロー・スクールに入学できるか否かを大きく左右します。但し、LSATのスコアが必要なのは三年間のJ.D. コース (Juris Doctor) を目指している方のみで、既に法学士を取得している筈の一年間のLL.M. (Master of Law) コース希望者は必要ありません。

### 2) LSATの主催者

アメリカのLSACという団体が行っています。LSDAS (Law School Data Assembly Service) という法科大学院進学希望者が登録するアドミッション・サービスも同時にLSACによって運営されています。つまりLSACはアメリカ及びカナダのほとんどの法科大学院と提携し

て大学院と進学希望者の双方への便宜を図っている団体です。

### 3) LSAT 受験申し込み

一年に四回テストが行われています (二月、六月、十月、十二月)。次の年の秋からの新学期を考えているなら、遅くとも十二月のテストでいい成果を出さなくてはなりません。www.isac.org で早めに登録します。世界中のテストセンターで受験できます。

### 4) LSAT 試験問題の特徴

法律の知識がないと想定されている受験者を対象にしているため内容は法律とは関係ありません。主に法学の学生、そして将来の法律専門家として必要な読解力、論理的思考力、論旨明確な作文力、などを測るテストなので当然ながらかなりの英語力が必要とされます。たとえ英語が母国語でもテストの内容を理解する、慣れるという準備が必要です。GRE (Graduate Record Exam) や GMAT (Graduate Management Admissions Test) などの他の欧米大学院進学のテストと比較すると、analytical writing (分析的作文) や critical reading (読解力) など共通の部分もかなりありますが、verbal セクションや quantitative section が強調されている GRE, GMAT に比較して LSAT の特徴は logic 重視にあるとも言えるので論理的思考が苦手とされている日本語を母国語とする受験者はそれなりの準備が必要です。

### 5) LSAT の試験問題の種類

四つの異なる部門から出題されます。

#### ▶ Logic Reasoning Section (論理的思考力セクション)

短い文章や会話についてその論理性や構造について質問に答える。論旨の前提事項や、論理の流れ、類推事項の妥当性、構造の論理性、など。二つのセクションがあり、各々35分以内に25前後の質問に答える。従って一問につき凡そ一分半くらいの回答時間。

時間配分は以下のセクションも同じだが特に次の長文読解などでは提示文を読む時間を考慮すること。

▶ **Reading Comprehension** (文章読解力セクション)

短い読み物を読んで質問にこたえる。トピック、作者の意図、文脈から予想できること、などを素早く捕らえる。Multiple-choice から正解を選ぶ。25問前後で制限時間35分。これが2セクション。

▶ **Analytical (Logic Game) Section** (分析力セクション)

条件付ロジック、演繹論理、など論理的思考を四つのゲームでテストする。各ゲームについて5から6題のmultiple-choiceの質問があるので、全部で23か24の質問に3~5分で答える。これは1セクションのみ。

▶ **Writing Section** (作文セクション)

このセクションで書くエッセイは他のセクションのスコアの合計(LSATスコア)とは別個に扱われますが、志望校には送られ合否の判定にかかわることに違いはないので真面目に取り組む必要があります。作文の内容は二つ提示されてそのひとつを選ぶこともあるし、ひとつしか与えられないこともあります。ちょっとした「状況」が説明されていてその内容を読んで理解し分析し、提示された質問に明確な文章で答えるというもので、書く力のみならず、読解力、分析力、論理力などが総合的に必要となります。質問は多くの場合、二つの状況の選択しからどちらかを正しいと選択そしてその理由を説明しなさいという形です。問題はひとつだけで制限時間30分。

以上にプラスしてテスト製作者がデータをとるための「試し問題」が出されます。

6) **どのくらいのスコアが必要?**

TOEFLなどと違い「何点以上なければこの大学に進学できない」ということはなく、同じLSATの試験を受けた受験者の中でどのくらいの位置にいるか、という点が合否の判定に使われます。正解答はひとつ一点ですが正答数の合計は120点から180点の間スケールに換算されます。平均は150点くらいと言われています。例えば83%の正解率(150点以上)でもほかの受験者半分の正解率をもっと高けれ

ばpercentile rankingで50%以下、受験者の50%以上は自分よりよくできた、という結果になってしまいます。このpercentile rankingの高いほうの受験者が競争率の高い法科大学院に入りやすいこととなります。

7) **問題例と取り組み方の例**

実際にLSATに出題された問題を例にとってテストの概要を見てみましょう。

a) **Logic Reasoning Section**(論理的思考力セクション)

短くいえば展開されている(または正しく展開されていない)論理を理解できるかどうかのテストです。ロジックについての難しい知識は必要ありません。求められているのは大学生レベルの論理、前提、仮定、結論、といった常識的な概念です。いろいろなタイプの短いパラグラフについて理解し、分析し、批評し、補足する、といった作業が主で、パラグラフは新聞への投稿、会話、会議録、学術論文など多岐に渡ってはいますが論理的に理解する力を試しているのは共通です。ISACはパラグラフを読みながら以下のような点に注目することを薦めています。

- 1) 話の焦点は何か。
- 2) はっきり書かれてはいないが想定されていることは何か。
- 3) パラグラフに続く結果はどうなるか。
- 4) 論理はどのようにつながっているか。
- 5) 間違った論理や解釈が存在しないか。
- 6) どんな情報が足されれば違った論理的結果をもたらすか。
- 7) 相反する事実や議論が含まれているか。

まず、上記の注意点を念頭にパラグラフを注意して読み、質問事項を正しく理解します。次に回答の選択しも注意深く読みます。正しい答えはパラグラフの内容だけから判断し、「世の中では普通これが正しい」や「私の意見ではこれが正しい」などと言う根拠で選んではなりません。

では実際の過去問題から例を引いて考えてみましょう。

## Question 1

(本文)

A study has shown that there are still millions of people who are unaware that they endanger their health by smoking cigarettes. This is so despite government campaigns to warn people of the dangers of smoking. Reluctantly, one has to draw the conclusion that the mandatory warnings that tobacco companies are required to print have had no effect.

(日本語訳)

ある研究結果によると喫煙が健康を脅かすことを未だに知らない人々が非常に多いという。政府が喫煙の危険性を人々に警告しているにもかかわらずこの状況である。タバコ産業が行政から求められて義務としてパッケージに印刷している警告文は効果がなかったと本意ながら認めざるを得ない。

(質問)

Which one of the following, if true, would refute the argument in the passage?

(日本語訳)

以下のそれぞれの選択しを真実と仮定した場合、どの選択が上の内容の誤りを指摘しているか (反論しているか)。

- (A) Many people who continue to smoke are aware of the dangers of smoking.  
(多くの喫煙者は喫煙の危険を承知している。)
- (B) Some people smoke cigarettes for legitimate reasons.  
(納得できる理由で喫煙している人々もいる。)
- (C) Government has had to force companies to warn potential customers of the dangers of their products.

(政府は製品の危険性を顧客に警告することを企業に強制しなければならなかった。)

(D) Some people who are aware of the dangers of smoking were made aware of them by the mandatory warnings.

(喫煙の危険性を認識している人々は強制された警告文によってそれを知った。)

(E) Smoking is clearly responsible for a substantial proportion of preventable illness in the country.

(この国において明らかに喫煙はかなり広い範囲に渡る予防できる病気を引き起こしている。)

(Source: Test sample from ISAC)

(解説はウェブページをご覧ください。)

ではもうひとつ例を下にあげますので力試しに解いてみましょう!

## Question 2

Manager: Our new computer network, the purpose of which is to increase productivity, can be installed during the day, which would disrupt our employees' work, or else at night, which would entail much higher installation charges. Since saving money is important, we should have the network installed during the day.

The manager's argument assumes which one of the following?

- (A) The monetary value of the network equipment would not exceed the cost of having the equipment installed at night.
- (B) The monetary value of any productivity lost during a daytime installation would be less than the difference between daytime and nighttime installation costs.
- (C) A daytime installation would be completed by no larger a crew

and would take the crew no more time than would a nighttime installation.

- (D) Once the network has been installed, most of the company's employees will be able to use it immediately to increase their productivity.
- (E) Most of the company's employees would be able to work productively while a daytime installation is in progress.

### (解答のヒント)

これはどこかの"manager"のせりふです。"Installation during the day will disrupt employees' work"と"Installation at night time would require higher installation cost"を比較して結局後者を選んだわけです。その理由は"saving money is important"ということです。

## b) Reading Comprehension (文章読解力セクション)

制限時間が限られているのでかなり素早く読んで理解しなくてはならないが、他の進学テスト同様に練習すれば成果があがるセクションでもあります。予備校などによってはパラグラフの最初の文(多くの場合トピックセンテンスがある)と最後(多くの場合結論文がある)のみ読んで回答するなど指導しているところもありますが、実試験で時間がなくなってしまった場合を別にして、LSATのリーディングはすべてを一応注意深く読むことが必要です。リーディング問題への取り組み方として、(a)先に質問を読んで本文を読み、また質問に戻って答える、(b)最初に本文をざっと読んで質問を読み、答えがあるところを再度詳しく読む、(c)最初から本文を詳しく読んで完全に理解した上で質問に移る、といったような異なるやり方がありますが、受験者それぞれが一番早く回答できる自分にあった方法を見つけることが大切です。少なくとも最初に一度読み終わるまでに(1)全体のトピックをつかむ、(2)各パラグラフの主題(サブ・トピック)をつかむ、の二点を実行しておけば、質問文を読んだ時に答えがはっきり解らない場合はどのパラグラフへ戻

ればいいかがわかります。(ルールに従って書かれている英語のエッセイではひとつのパラグラフの主題はひとつです)。理想的には(a)作者のトピックに対する態度(賛成か反対)、誰に対してその文を書いたか、(b)各パラグラフの構成(どんな流れになっているか)、(c)事実、想定、予想などが何をサポートしているか、なども記憶に残すといいですが、なかなかそうもいかないものです。LSACは以下のことを薦めています。

- 1) 答えを選ぶ前に一応全選択しを読む。
- 2) 選択肢の内容が事実だからといってそれが必ずしも正解ではない。質問に対応する正しい答えが正答である。
- 3) 提示文の内容からのみ判断して答えを選ぶこと。受験生の個人的な考え方、世間一般の常識などは回答の基準にはならない。

本文は比較的長く内容もTOEFLなどより難しいですが、質問の種類は変わりません。以下のような質問が聞かれます。

- 1) 主題(main idea)は何か?
- 2) 使われている言葉の意味など細かい質問。
- 3) はっきり書かれている情報。
- 4) はっきり書かれていないが内容から類推できる事柄。
- 5) エッセイの構成。
- 6) 作者の主題に対するスタンス(author's attitude)、書き方の調子(tone)、などはどこに現れているか?

では実際の過去テストの問題を例にとって検討してみましょう。ひとつの提示文について通常は五問以上の質問があります。

### (Question 3)

**Directions:** Each passage in this section is followed by a group of questions to be answered on the basis of what is stated or implied in the passage. For some questions, more than one of the choices could

conceivably answer the question. However, you are to choose the best answer; that is, the response that most accurately and completely answers the question, and blacken the corresponding space on your answer sheet.

(このセクションのそれぞれの読み物についていくつかの質問がある。質問には提示文に書かれている内容、またはその内容から推測できる事柄にのっとして答えること。一部の質問についてはひとつ以上の選択しが正しいように見えることがあるが、一番正確かつ完全に質問に答えている選択しを選び、解答用紙の該当する箇所を黒く塗りつぶしなさい。)

(本文)

The auction is a market mechanism. It consists of unique transactions between willing sellers and eager buyers who have been brought together by the auctioneer to determine a price at which the

(5) items for sale will be sold. As a method for determining price, auctions are easy, accurate, and fair. However, auctions are occasionally marred by certain bidding practices that conflict with fairness and openness in business deals. Some of these

(10) practices involve negotiations behind the scenes. Two of the more common types of illegal bidding practices in auction circuits are "puffing" and "stifling competition." The objective of "puffing" is to buoy the price of the item for sale. Two puffing

(15) practices are common: having the seller, or the seller's agent, bid on an item the seller himself has put up for sale; or having the seller in some way exempt the person bidding from being held responsible for the full amount of the bid. Sellers bid

(20) on their own property because they want to get the highest price possible; they do not want the

property to be sacrificed. When puffing is suspected, it is important to establish whether the person suspected of puffing is

(25) indeed the seller of the item. Ownership interests may be divided among several persons, each of whom must agree to the sale. Those persons, as a group, then constitute the seller. An individual with ownership interests can bid as an individual without being a

(30) puffer so long as the seller—that is, the group as a whole—can hold that person responsible for the full amount of the bid. If the person bidding is even partially immunized by the seller from being held responsible for the full amount of the bid, puffing

(35) has occurred. Buyers engage in "stifling competition," the other common illegal bidding practice, to dampen competition so that they can purchase an item for less than the amount it would have brought in an

(40) auction uninfluenced by such conduct. Stifling competition can take several forms: agreements among prospective buyers not to bid, words or actions that are meant to discourage others from bidding, or bidding techniques that diminish the

(45) price ultimately paid for the item being auctioned. Puffing and stifling competition are opposite sides of the same coin. When they occur, buyers and sellers, respectively, complain that the other's conduct has prevented the auction from being fair

(50) and open. In those instances when the complaints have been found to be justified, the courts

have held puffing to be a fraud on the buyers and stifling competition to be a fraud on the sellers. Both practices are fraudulent because they undermine (55) the fair, open, and competitive determination of price that is meant to be the distinguishing characteristic of auctions as market mechanisms.

(Source: LSAC website)

(質問)

According to the information in the passage, each of the following is an accurate statement about auctions EXCEPT:

(以下の文はひとつを除いて提示文の内容と一致している。一致していないものはどれか?)

- (A) Puffing is considered an illegal practice at auctions.  
(パフリングはオークションにおける不法行為と考えられる。)
- (B) Ideally, auctions are a fair method for determining the price of an item.  
(理想的にはオークションはアイテムの値段を決定するフェアな手段である。)
- (C) Sellers are generally able to get higher prices through auctions than through other market mechanisms.  
(売り手は他の市場メカニズムを通して売るよりオークションで売ったほうが高い値をつけられる。)
- (D) The prices paid at a fair auction are the result of competition among buyers.  
(フェアなオークションで決まった値段は買い手の間の競争の結果である。)
- (E) The price that is determined at a fair auction is not always acceptable to the seller.  
(フェアなオークションで決まった値段はいつも売り手にとって納得で

きるものとは限らない。)

(本文日本語訳)

オークション(競売)はひとつの市場のメカニズムである。オークションは売り手と買い手の間のユニークな経済活動と言うべき売買の形態である。売り手と買い手はオークションの主催者によって引き合わされ、品物の値段が決定される。値段を決めるやり方としてはオークションは安易で、正確で、かつ公平な手段である。しかしながら、時々商取引の公平さや公開性に反するような種類の入札によってこのオークションの正当性は損なわれることがある。このような問題のある入札の一部は裏取引によるものである。

オークションにおける不法な入札のもっとも一般的な二つの例は「パフリング」と「競争の阻害」である。パフリングの目的は売りに出ていた品物の値段を上げることである。二種類のよく使われるパフリングがあり、ひとつは売り手や売り手の代理人が自ら売りに出したものに値をつけること、もうひとつは入札した人が入札金額の全額を支払う責任を売り手が免除する方法である。売り手は競売に出したものになるべく高い値段をつけたいし、損をしたくないので自分の財産に入札することがある。

パフリングが行われているのではないかという疑いがもたれたときにはパフリングした人が確かに品物の売り手であるということを明確にすることが大切である。複数の人が品物の所有権を持っているケースでは所有者すべてが売買に同意しなくてはならない。これらの人々がまとめてひとつのグループとして売り手となる訳である。この場合、売りに出された品物に所有権のある人の一人が一個人として入札することができるが、売り手、つまり所有権のある人たち全体が入札者に入札金額全額を責任を持って支払わせることを前提としている場合のみ可能である。もし入札した人がたとえ部分的にでも入札金額の全額を支払う責任から、売り手全体による行動で逃れさせてもらう状況などがあった場合はパフリングが行われたことになる。

買い手側は「競争の阻害」を引き起こすことがある。これはもうひとつのよくある不法な入札で競争を抑制し、正当に競売が行われた場合よ

り安い値段で品物を買ひあげようとする。この「競争の阻害」行為はいくつかのパターンがある。予想されるバイヤー達の間で入札しないという談合、他の参加者に入札させないようにする言動、競売物の最高値を下げようとする入札の手段、などである。

「パフイング」と「競争の阻害」は同じコインの両側のようなもので、もし不正が行われたときは、売り手と買い手は夫々競売が公平で公開的ではないとして苦情を申し立てる。苦情が正当であると認められた場合、法廷はパフイングは買い手に対する詐欺行為であり、競争の阻害は買い手に対する詐欺行為であると判断する。これらの行為は市場メカニズムとしての卓越した競売の特徴である公平で公開的で競争原理にのっとった値段の決定を妨げるという理由で不正行為とされる。

(回答と解説はウェブページへ)

### c) Analytical (Logic Game) Section (分析力セクション)

このセクションでは人や物、場所、イベントなどの相互関係についての説明文やルール、条件などが提示され、それだけを材料にして対象物の関係を推論します。これは特に法学部の学生にとって専門分野の問題を解決するために必要なスキルであると言われていています。質問の内容は知能ゲームのようなので“Logic game”と呼ばれています。五人(V,W,X,Y,Z)が会議に参加するがどのような順で円卓に座ることができるか、という問題などがいい例です。条件は「XとYは隣り合わせになってはいけない」「WはXと隣あわせにするがYとは隣り合わせにならない」などの提示されたいくつかの条件をすべて満たす解答を選びます。このセクションは特別なトレーニングが必要というものではなく、条件を理解し、登場アイテムの関係をつかむことは特殊な作業ではありません。

(解答のコツ)

LSACは以下のような点に気を配ることを薦めています。

1) いくつかの条件は固定条件(例「XとYはいつも隣あわせ」)であるのに対し流動的な条件もある(例「XはYかZと隣り合わせ」)。また

はAという状況が起こったときBが起こる(例「XがYと隣り合わせのとき、WはVと隣り合わせになる」)という条件もあり、問題をよく読むことが大切です。

2) 数ある設問のうち、やさしいものからとっていくのもひとつの方法です。説明文の長さや問題の難易度は関係ありません。

3) 条件文が意味する以外の推定を勝手にしてはいけません。条件文はわかりやすく書いてあるのでそのまま素直に受け取りことができます。トリックがあるのではないかと疑う必要はありません。

4) 語句の使い方も解りやすくされていますが、登場人物などの相互関係を規定する言葉、例えば、only, never, always, must be, cannot be その他の表現に注目しましょう。(例 “He only attend Monday classes.” “He never sit together with Mr. Burns.”)

5) いくつかの設問がされますが、問題の間に関連性はありませんので、ひとつ答えたらもうその質問のことは忘れましょう。つまり、質問一が「もしXがYの隣なら、Wは誰の隣?」としていて、質問二が「ZがWの隣なら、Vは誰の隣?」となっていたとします。質問二に質問一は無関係なので、「XはYの隣」という条件は質問二には入っていません。しかし基本的な条件が共通の場合もありますので、それは考慮しなくてはなりません。提示文のあとに基本的な条件が示され、それに続く各質問はさらに条件が追加されている場合を指します。

6) キーポイントをマークしたり、図や表を書いてみたりするのは約に立つことが多いです。しかしどんな種類の図が効果的かはそれぞれの好みによります。

7) LSACが示している主な出題のパターンは以下のとおりです。

#### (a) アサインメント問題

(夫婦PとOと子供たちRとSはそれぞれ四日間続けて歯医者に行かなくてはならない。。。)

#### (b) 順序づけ問題

(XはYよりも成績がよく、Zよりも悪い。KはYよりも悪い。。。)

#### (c) グループ分け問題

(七人の部員でプロジェクトチームを構成したいが、各メンバーは執

筆、計画、実行のいずれかに実力がなければならぬ。。。。。)

**(d) 空間関係問題**

(ある国は六つの郡に分けられているがそれぞれの郡は他のふたつの郡とハイウェイでつながっている。AはB、Cとつながり、DはE、Bとつながっている。。。)

では例題を見てみましょう。

**(Question 4)**

**Directions:** Each group of questions in this section is based on a set of conditions. In answering some of the questions, it may be useful to draw a rough diagram. Choose the response that most accurately and completely answers the question and blacken the corresponding space on your answer sheet.

(このセクションの問題はひとつのまとまった条件に従っています。質問に答えるときに簡単な図表を書くといいかもしれません。一番正確で完全に質問に答えている選択しを選び該当する解答欄を塗りつぶしてください。)

(本文)

An island has exactly seven villages—S, T, U, V, X, Y, and Z—and three roads—Routes 1, 2, and 3. The following is a complete listing of the road connections on the island:

Route 1 has its ends at S and U, and passes through T only.

Route 2 has its ends at T and U, and passes through V only.

Route 3 has its ends at X and Z, and passes through Y only.

Directly connected villages are those villages between which there is a road connection that passes through no other village on the way from one to the other.

(source: LSAC website)

(日本語訳)

ある島には七つの村 (S, T, U, V, X, Y, Z) がある。そして三つの道、ルート1, 2, 3がある。以下は島の中の道のつながりをしめす完全なリストである。

ルート1はSとUが両端でTのみを通過している。

ルート2はTとUが両端でVのみを通過している。

ルート3はXとYが両端でYのみを通過している。

直接つながっている村は間に別の村がない村である。

(質問)

Which one of the following villages is directly connected to the most other villages?

(以下のどの村が他の村々と一番たくさん直接つながっているか?)

(A) T

(B) U

(C) V

(D) X

(E) Y

(回答と解説はウェブページ)

次に「順番」の例題を見てみましょう。

**(Question 5)**

(本文)

Seven piano students - T, U, V, W, X, Y, and Z- are to give a recital, and their instructor is deciding the order in which they will perform. Each student will play exactly one piece, a piano solo. In deciding the order of performance, the instructor must observe the following restrictions;



(条件)

X cannot play first or second.

W cannot play until X has played.

Neither T nor Y can play seventh.

Either Y or Z must play immediately after W plays.

V must play either immediately after or immediately before U plays.

(質問)

If V plays first, which one of the following must be true?

(A) T plays sixth.

(B) X plays third.

(C) Z plays seventh.

(D) T plays immediately after Y.

(E) W plays immediately after X.

(回答と解説はウェブページ)

次に“グルーピング”が絡んだ問題を試してみましょう。

**Question 6**

(本文と条件)

Each of seven travelers - Norris, Oribe, Paulsen, Rosen, Semonelli, Tan, and Underwood - will be assigned to exactly one of nine airplane seats. The seats are numbered from 1 through 9 and arranged in rows as follows:

Front row: 1, 2, 3

Middle row: 4, 5, 6

Last row: 7, 8, 9

Only seats in the same row as each other are immediately beside each

other. Seat assignments must meet the following conditions:

(1) Oribe's seat is in the last row.

(2) Paulsen's seat is immediately beside Rosen's seat and also immediately beside an unassigned seat.

(3) Rosen's seat is in the row immediately behind the row in which Norris's seat is located.

(4) Neither Semonelli nor Underwood is seated immediately beside Norris.

(質問)

Which one of the following is a pair of travelers who could be assigned to seats 2 and 8, respectively?

(A) Norris, Semonelli

(B) Oribe, Underwood

(C) Paulsen, Oribe

(D) (D) Rosen, Semonelli

(E) Underwood, Tan

(解答のヒント)

(2) から Paulsen と Rosen はひとつの row を二人で占めて、(1) から Oribe は三列目なので (3) から一列目は Norris のいる列で二列目が Paulsen, Rosen の列であるとわかる。

(回答と解説はウェブページ)

**d) Writing Section (作文セクション)**

ある事象に関する説明文を読み、それに対する二つの立場からひとつを正しいと選びその理由を論理的に書いて説明します。LSAC から例を見てみましょう。

(説明文)

A scholarly professional association must select a site for its annual four-day conference. The association has narrowed its choices to either the city of Phillipsburgh or the Rancho Mesa Hotel. Write an essay in which you argue for one site over the other, keeping in mind the following two criteria:

(ある学術専門家の協会が年一度の四日間にわたる会議の場所を選ばなくてはならない。協会はフィリップスバーグとランチョ・メサ・ホテルの二箇所のどちらかにすることにした。以下の二つの基準に沿ってどちらがいい選択であるかをエッセイで議論せよ。)

- The association wants the conference to be as well attended as possible.

(協会はなるべく多くの人に会議に参加してもらいたい。)

- The association also wants to persuade conference attendees to remain in the hotel for talks and organized events such as dinners.

(協会は参加者になるべくホテルにいて発表やディナーなどのイベントに参加するように求めている。)

Phillipsburgh is traditionally a very popular destination for travelers. It offers many fine restaurants, theaters, museums, and opportunities for shopping and sight-seeing. While conferences held in Phillipsburgh in the past were well attended, past experience also shows that, because of the many attractions of Phillipsburgh, many conference events are under-attended. However, one of the most celebrated scholars in the field has indicated an interest in speaking and attending conference events if the conference is held in Phillipsburgh. Expense is a concern: several hotels offer conference rates, but the rates are still high enough that graduate students and most young scholars may be priced out of the conference if it is held in Phillipsburgh. The Rancho Mesa is a luxury resort hotel located in an

isolated high desert setting, and it is highly rated by many travel guidebooks. In the past, the association has sometimes found it difficult to attract large numbers of attendees to isolated resort settings, but it has also found that members who travel to conferences in such settings are apt to attend more conference events. To attract the association's patronage, Rancho Mesa is offering a large discount to association members, making the room rates quite reasonable. As attractions for its guests, the hotel offers activities such as swimming, hiking, and horseback riding. The hotel also offers excellent food and large group dining facilities that the association can use for its dinner events, and meals are included in the room rate. Unfortunately, since Rancho Mesa is far from any travel hub, getting to the hotel is time consuming and usually costly.

二つの提示された「基準」からカンファレンスの開催地は

(1) 多くの人に参加できる (しやすい)

(2) カンファレンス以外のことに参加者があまり気をとられない、の条件を満たしていなければなりません。それぞれの場所のいいところ、悪いところをリストして見ましょう。

Phillipsburg は観光地として人気があり様々な旅行者のためのアトラクションがあるようです。過去の例からして参加者は多いが (長所)、観光に気をとられてカンファレンスのイベントへの参加率は低かった (短所)。もしこの場所なら最も人気のある学者が参加するのでイベントへの参加率もいいかも知れない (長所)。参加費は高くなるので若い学者などは参加しにくい。(短所)

Rancho Mesa は高級リゾートだが遠いので参加者が少ない傾向 (短所)。一方、参加した人はイベントによく出る (長所)。滞在費は安め (長所) でホテルは様々なアクティビティを提供する (長所)。食事は部屋代に

含まれるし、コンファレンスのイベントもホテルが助ける（長所）。しかし、遠いのでホテルにつくまで疲れるし旅費もかかる（短所）。

さて、どちらを選びますか？どちらが正解、ということはありません。大事な点は選んだ候補地が他方よりいいと論理的に書いているか否か、ということです。基本的な幾つかのポイントをリストし、それぞれについて短いパラグラフを書きます。以下は構成の仕方の例です。

### Paragraph 1 (Introductory Paragraph)

ここでどちらを選ぶかをはっきりさせて、その理由（例えば二つ）を短くリストします。

（例）

Although both places have good qualities to offer to the conference and its attendees, the Association should choose Rancho Mesa because the reasonable lodging cost will attract many attendees which will make the conference events more lively.

### Paragraph 2 (Body Paragraph 1)

最初の理由について説明する。

（トピック）

should be actively attended. At Rancho Mesa the attendants tend to focus on the events.

### Paragraph 3 (Body Paragraph 2)

二番目の理由について説明する。

（トピック）

The conference should be accessible to any scholar in terms of

cost. Lodging at Rancho Mesa is priced reasonably and the hotel offers a lot to the conference.

### Paragraph 4 (Body Paragraph 3)

他方を選ばなかった理由を説明する。

（トピック）

Phillipsburg attracts attendees who are more interested in sightseeing than conference events which should be the focus of their stay.

### Paragraph 5 (Concluding Paragraph)

まとめる。

別の構成案として第二パラグラフで「基準1」、第三パラグラフで「基準2」について二箇所を比較するという書き方もあります。どんな構成を選ぶにしても以下の点に留意しましょう。

- 1) 必ずパラグラフ構成にする。
- 2) イントロで自分の立場をはっきりさせる。
- 3) 各パラグラフはトピックセンテンスで始め、何そのパラグラフのトピックかはっきりさせる。パラグラフごとのトピックは違いをはっきりさせる。
- 4) 文章は明確に、重複なく（同じ内容を繰り返さない）、当たり前のこと（例：“Sickness is bad”）は書かない。
- 5) 結論は新しい議論を持ち出してはいけませんが、コメントは入れることができる。
- 6) いろいろなセンテンスパターン、熟語などできれば使う。いろいろなトピックで練習し、他の人に見せて意見を聞きましょう。

## 8) 試験準備の仕方

まず一度 ISAC のサイトに出ているものや市販の教科書のサンプルテストの一部または全部を試してみ、テスト全体の概要をつかみましょう。どのくらいの準備時間があるかにも拠りますが、その後出題タイプ別（上記5）に出題傾向を理解し対策を学びます（問題に親しむ）。Multiple choice の質問に関しては必ずしも正答がわからなくても「勘」を養うこともできるので練習が必要です（ストラテジーを体得）。全体を一通りカバーしたら模擬テストを受けてみて、苦手なセクションにしばらく集中します（フォーカス）。テスト前には時間配分の練習もかねて、模擬テストを何度か試してみることをお勧めします（テストスキルの体得）。エッセイについては、日本の学校教育では英文エッセイライティングの基本すら学ぶ機会がないため、基礎から始めなくてはならない受験者がほとんどです。参考書をみたりクラスに参加したりして早めに練習を始め他の部門の学習と同時進行するように計画するといいでしょ

### 解答と解説は web 上で

LSAT 過去問題の解答と解説は web ページで公開しております。

閲覧をご希望の方は、下記 URL にアクセスし応募フォームからエントリーしてください。

[http://www.babel.edu/open\\_college/](http://www.babel.edu/open_college/)

《法律翻訳界最大のベストセラー》

『リーガルドラフティング完全マニュアル』をオンラインで

<http://www.legal-solution.jp/>をご覧ください

●上司から英文契約書を作れと言われた

どうします？

●バベル リーガルソリューションサービスへいらっしゃい！

WEBサイト BABELリーガルソリューション・サービス (legal-solution.jp) では

### 1.リーガルドラフティング完全マニュアル

英文契約書のドラフトに必要な条項を全て記載『検索』機能が付いているので使いやすい！

### 2. 英文契約書における共通条項

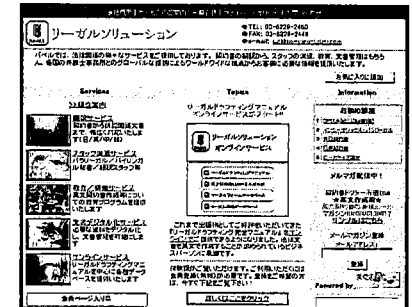
毎回、同じような内容を苦心惨憺、英文化していませんか

### 3. リーガルフォームデータベース

様々な契約書、そのフォームが即手に入れば、あなたの「ドラフティング力」は急伸！

### 4. リーガル用語データベース

そしてもちろん最後はこれ。万全のドラフティング体制！を留意。いつでもご利用いただけるサービスを開始



まずは、ご体験ください。  
あなたの毎日がばら色に  
変わります！

無料

多くの企業様にご購入いただいた  
『リーガルドラフティング完全マニュアル』を体験しよう